



植物の色 ~染色で楽しむ植物たち~



# オヒルギ

色 茶色  
染料となる部分 樹皮

熱帯の海岸の植生の中心となるマングローブを構成する樹木の一つです。種子が枝に付いたままで発芽する胎生種子を付け、海に落ちて流れ着いた浜辺に根付くことで広がっていきます。タンニンを含むため、古くから革をなめしたり染色に使われました。オヒルギやオオパヒルギの樹皮を集めたものや煎液を煮詰めたものを丹殻(たんがら)、またそのエキスを乾かして固形にしたものをカッチと呼びます。奄美大島や沖縄諸島では、腐食を防ぐ効果があることから漁網が染められてきました。

<http://www.botanical-fureai.com>

# ふれあい

Botanical Garden FUREAI



# 植物だより

news letter

No.45

秋

2017

おもしろなまじいおもしろ...



サトウマツ  
約297mm

アカマツ  
約72mm



夏の植物センターは



あつという間の1週間でした。

松濤中学校：職場体験学習

リンゴの収穫

原宿キャットストリートにてリンゴの収穫を行いました



## ふれあい植物センターご案内

開園時間 午前10時～午後6時  
(入園は午後5時30分まで)  
休園日 毎週月曜日  
(祝日または振替休日のときは翌日の平日)  
入園料 100円  
年間パスポート(1000円)あり  
幼児・区内在住・在学の小中学生と  
60歳以上の方は無料

※当園は駐車場がありません。公共交通機関又は徒歩でご来園下さい。





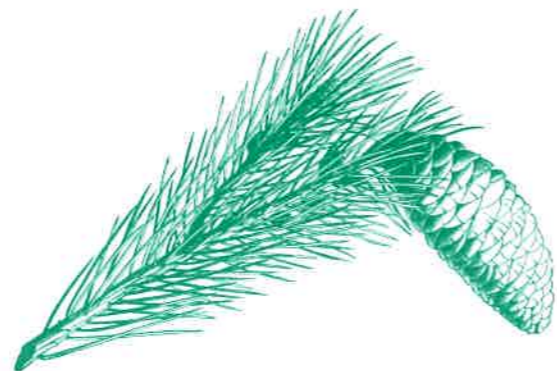


## まつぼっくりって何？

まつぼっくりはマツ科の木の実に松毬・松傘・松笠ともいいます。マツ科は針のような葉が特徴の針葉樹で種子がリンゴやトマトのような果肉に包まれることなく裸のままの種子を育てる裸子植物です。分厚く固い魚のうろこが重なって卵のような実を形作り、そのうろこの間に1つずつの種子が挟まっています。種子は、風によって飛んで行った先で芽を出す風散布と、リスなどの小動物が食用とするために貯蔵した先で芽を出す動物散布で広がります。種子の成熟には2年かかるので、マツの枝を観察すると、先端に今年の雌花、昨年伸びた枝の根元に昨年から成長した未熟なまつぼっくり、さらに下には種子を放出した後のまつぼっくりがついているのが見られることがあります。種子を放出してしばらくすると、まつぼっくりは根本からはずれて地上に落ちます。このとき、まつぼっくりは大きく開いてやや球形に近くなります。



# まつぼっくりが あったとさあ〜



## 開いたり閉じたりする？

まつぼっくりは水に濡れると鱗部分が閉じて、乾くと広がるというメカニズムを持っています。これは、鱗の間に入っている大切な種子が雨にさらされて痛まないための工夫です。マツの種類の中には山火事にあうと裂開：れっかいという現象で硬いまつぼっくりを開き種子を散布させ、焼け野原でいち早く発芽させる種類もあります。



## マツの種子が好物なのは誰？

マツの種子は油脂が多く含まれているために、ムササビ・リス・ネズミ・クマが好んで食べます。カラスやノビタキ・ヒガラなどの鳥にもご馳走です。人間も例外ではありません。イタリアではバジリコの葉とマツの実とニンニクをオリーブオイルの中で磨り潰したジェノベーゼソースが食卓を彩ります。アジアではお粥やお菓子の中に入れて独特の食感や味を楽しみます。北アメリカ南西部に住むネイティブ・アメリカンはマツの実を集め、長く寒い冬の間の保存食料にしたそうです。

詳細は渋谷区ニュース・植物センターホームページをご覧ください。

\*日程・内容の変更の場合もあります。

\*いずれの内容も入園料が別途必要です。

## 企画展示

明治神宮  
不思議の社は渋谷の森  
8月8日(火)~11月5日(日)

渋谷区のパワースポット：明治神宮。神宮の森は壮大な構想をもとに育てられた人工林だということをご存知ですか？ 神宮の森の成り立ちとそこに育つ生き物たちを紹介します。

呼吸する写真  
日本写真芸術専門学校  
学生作品展  
11月11日(土)~30日(木)

芸術の秋。植物センターの植物と写真を使ったアート作品がコラボレーションします。ガーデンの中に展示された作品を探しながら、美術館では体験できないちょっと変わった芸術鑑賞を楽しんでみませんか。

表参道の櫟並木  
地域が育てる並木道  
12月5日(火)~1月8日(月)

渋谷の街並みを代表する表参道の櫟並木は明治神宮の参道です。大戦で焼け野原になった渋谷の中で街並みを再生するために、私財をなげうってケヤキの木を植えた人が居ることをご存知でしょうか。過去から未来へ並木道を通して文化を受け継ぐ人々を紹介します。



## 季節のイベント

### 似顔絵を描いてもらおう

日時：12月2日(土)  
15:00~17:00 (最終参加16:30)

費用：一人100円

対象：どなたでも

申込：11月25日から電話で

協力：清つねおとサラトレス 似顔絵クラブ



## 季節のワークショップ

10月7日(土)8日(日)9日(月)  
スキのミミズク作り

11月25日(土)26日(日)  
フワフワ綿の雪だるま作り

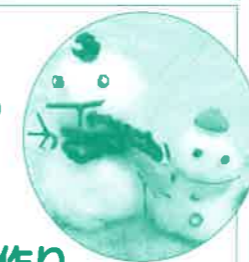
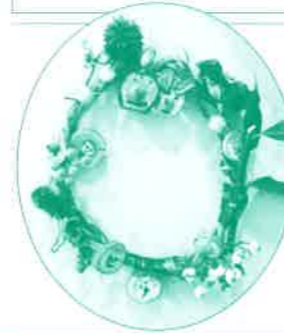
12月9日(土)10日(日)  
小さな蔓のクリスマスリース作り

時間：13:00~16:00  
(最終参加15:30)

対象・定員：どなたでも

費用：1個100円

申込：当日受付にて



## 自然科学系絵本の読み聞かせ おはなし植物園

植物や生物について詳しく分かる絵本の読み聞かせと、実物の観察や試食体験を行います。普段食べなれた野菜や身近な生物の意外な一面を楽しく学べる機会です。

10月18日(水)：  
野菜の形の話とやさいでべったんしよう

11月15日(水)：  
リンゴの話とリンゴを食べよう

12月20日(水)：  
冬の飾り物の話と親子で作る水引の正月飾り

時間：15:00~16:00  
費用：無料 対象・定員：4歳以上・15名(申込先着順)

申込：毎月10日から当日までに電話で

\*10日が休園日の場合、翌平日より



## お知らせ 開園時間・休園日のお知らせ

開園：10:00~18:00 (最終入園17:30)

10月の休園日：月曜日：2・16・23・30日 火曜日：10日

11月の休園日：月曜日：6・13・20・27日

12月の休園日：月曜日：4・11・18・25日

年末年始の休園日：12月29日・30日・31日 1月1日・2日・3日

## 花と緑の相談コーナー



植物センタースタッフが承ります。植物センター受付までどうぞ。

ご相談内容によって、後日回答をさしあげる場合もございます。御了承下さい。

\*病気や害虫は、実物の虫や葉をお持ち頂くとより詳しくお答えできます。